

# 要 覧



地方独立行政法人  
青森県産業技術センター内水面研究所

## 概 要

内水面研究所の前身である相坂養魚場は、明治34年、青森県水産試験場相坂鮭鱒人工ふ化場として湧水豊富な現在地十和田市相坂(当時藤坂村)に設置され、サケ・マス人工ふ化放流事業を実施しました。

明治35年には、北海道支笏湖からヒメマス卵を移入し、十和田湖のヒメマス増殖に大きな役割を果たしました。

大正2年、カリフォルニア州のベイヤードふ化場から、ニジマス卵一万粒を本県に初めて移入、親魚を養成し、同5年人工採卵ふ化飼育に成功しました。

昭和2年、青森県水産試験場相坂養魚場と改称され、以後サケ・マス類、コイ等の増養殖試験を実施し、これらの種苗の供給及び養殖技術の指導に当たってきました。

昭和56年、青森県内水面水産試験場として青森県水産試験場から独立し、内水面の資源調査及び増養殖に関する試験研究、指導等の業務を実施するとともに、敷地内に青森県魚病指導総合センターを併設し、魚病の診断、治療及び防疫指導等の業務を実施してきました。

平成5年から6年にわたり、飼育実験棟、防疫施設等の新設並びに改築を実施しました。

平成8年、機構改革により青森県魚病指導総合センターを青森県内水面水産試験場へ統合し、平成15年には青森県水産総合研究センター内水面研究所となりました。

平成21年、地方独立行政法人へ移行し、青森県産業技術センター内水面研究所となりました。

## 沿 革

- |               |  |
|---------------|--|
| 明治 34 年 6 月   | 相坂鮭鱒人工ふ化場を上北郡藤坂村に設置  |
| 昭 和 2 年 9 月   | 青森県水産試験場相坂養魚場に改称   |
| 昭 和 23 年 5 月  | 青森県水産試験場黒石養魚場を南津軽郡中郷村に設置   |
| 昭 和 36 年 4 月  | 青森県水産試験場黒石養魚場を黒石市大字石名坂に移転  |
| 昭 和 50 年 9 月  | オームリ展示室を西津軽郡岩崎村の十二湖に設置   |
| 昭 和 55 年 2 月  | 県営赤石川さけます実験ふ化場を西津軽郡鱒ヶ沢町赤石に設置   |
| 昭 和 56 年 4 月  | 青森県水産試験場より独立し、青森県内水面水産試験場と改称<br>黒石養魚場、赤石川さけます実験ふ化場及びオームリ展示室を引き継ぐ<br>青森県魚病指導総合センターを併設 |
| 昭 和 58 年 5 月  | オームリ展示室を西津軽郡岩崎村へ譲渡   |
| 昭 和 60 年 4 月  | 黒石養魚場を黒石市へ譲渡   |
| 平 成 5 年 ~ 6 年 | 飼育実験棟の新設   |
| 平 成 8 年 4 月   | 青森県魚病指導総合センターを青森県内水面水産試験場に統合   |
| 平 成 13 年 4 月  | 青森県水産部が農林部と統合して青森県農林水産部に改称   |
| 平 成 13 年 11 月 | 青森県内水面水産試験場の創立 100 周年記念式典  |
| 平 成 15 年 4 月  | 青森県内水面水産試験場が組織統合により青森県水産総合研究センター内水面研究所に改称  |
| 平 成 21 年 4 月  | 地方独立行政法人青森県産業技術センター内水面研究所に改組・改称  |

## 組織及び分掌

|     |       |  |
|-----|-------|--|
| 所 長 | 養殖技術部 | 水産動植物の増養殖に関すること<br>水産動植物の種苗の生産及び供給に関すること<br>魚病の調査、予防に関すること<br>庶務に関すること |
|     | 調査研究部 | 水産資源の開発調査に関すること<br>水産動植物の増養殖の指導に関すること<br>水質及び底質の調査に関すること               |

## 所内の施設



飼育実験棟



宿直室、手前右：小型実験池、手前左：成魚池



防疫施設



小型実験池



屋内飼育室

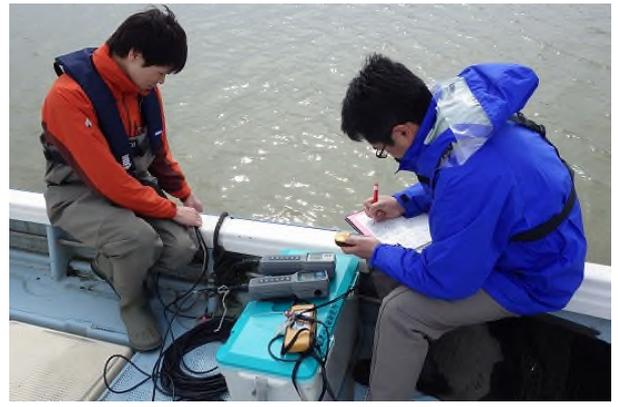


生物環境実験室

現地調査・講習会等



電気ショッカーによるサクラマス調査



湖での環境観測



シジミの試験区設置



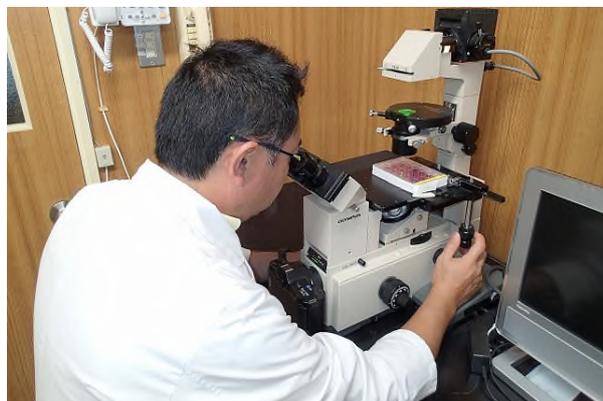
放流するウナギ幼魚への標識装着



ニジマスの採卵



防疫パトロール



魚病検査



研修会

## 所内で飼育している主な淡水魚

ニジマス サケ目、サケ科、サケ亜科、サケ属



原産地は北アメリカで、日本には明治 10 年に移入された。青森県には大正 2 年に移入された。

ニジマス(アルビノ) サケ目、サケ科、サケ亜科、サケ属



突然変異で体色の色素が欠乏して生まれたニジマス。青森県では、昭和 40 年代の初期に岩手県から移入された。

イトウ サケ目、サケ科、サケ亜科、イトウ属



日本最大の淡水魚と言われる。日本では青森県が南限と言われ、昭和の初期までは小川原湖に生息し漁獲されていた。現在、天然魚は北海道にだけ生息している。

ヒメマス(ベニザケ) サケ目、サケ科、サケ亜科、サケ属



ベニザケが降海せず、一生を湖で生活するようになったもの。十和田湖には、明治 35 年青森県水産試験場が北海道支笏湖から発眼卵で移入し、翌年、その一部をふ化稚魚として和井内貞行氏が放流した。

スギノコ(サクラマス) サケ目、サケ科、サケ亜科、サケ属



青森県下北郡大畑町の大畑川特産。海で捕れるものや、海から川へ上がってくる大型のものをサクラマス、河川に生息し、体側に楕円斑（パーマーク）のあるものをヤマメと分けて呼んでいる。大畑川の赤滝より上流域に生息する陸封型のものをスギノコと呼んでいる。

イワナ サケ目、サケ科、イワナ属



川の上流域に生息する。一部降海する個体があり、アヤママスと呼ばれる。

コイ コイ目、コイ科、コイ亜科、コイ属

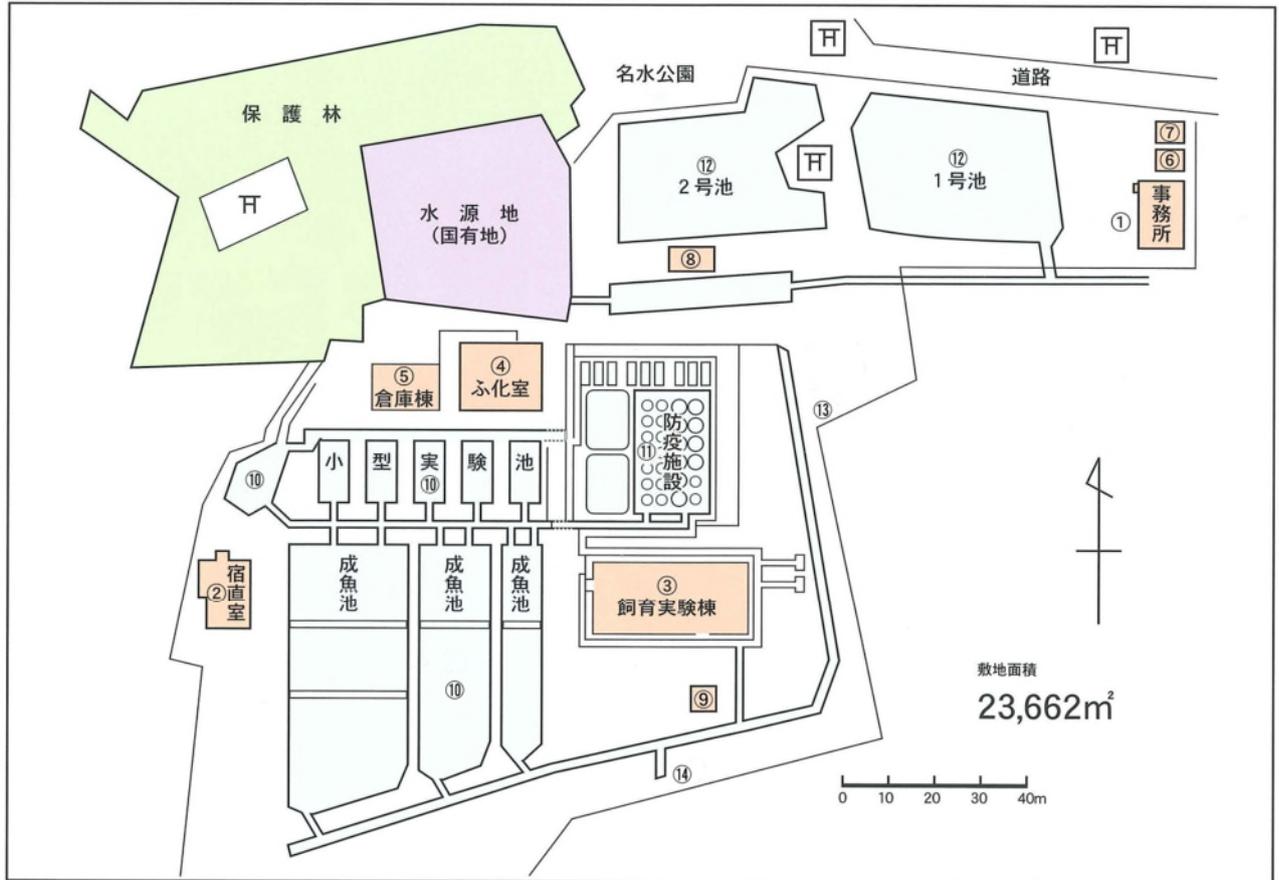


比較的流れが緩やかな川や池、沼、湖に生息する。頭や目が体に対して小さく、口もとに 2 対の口ひげがある。

## 施設の概要

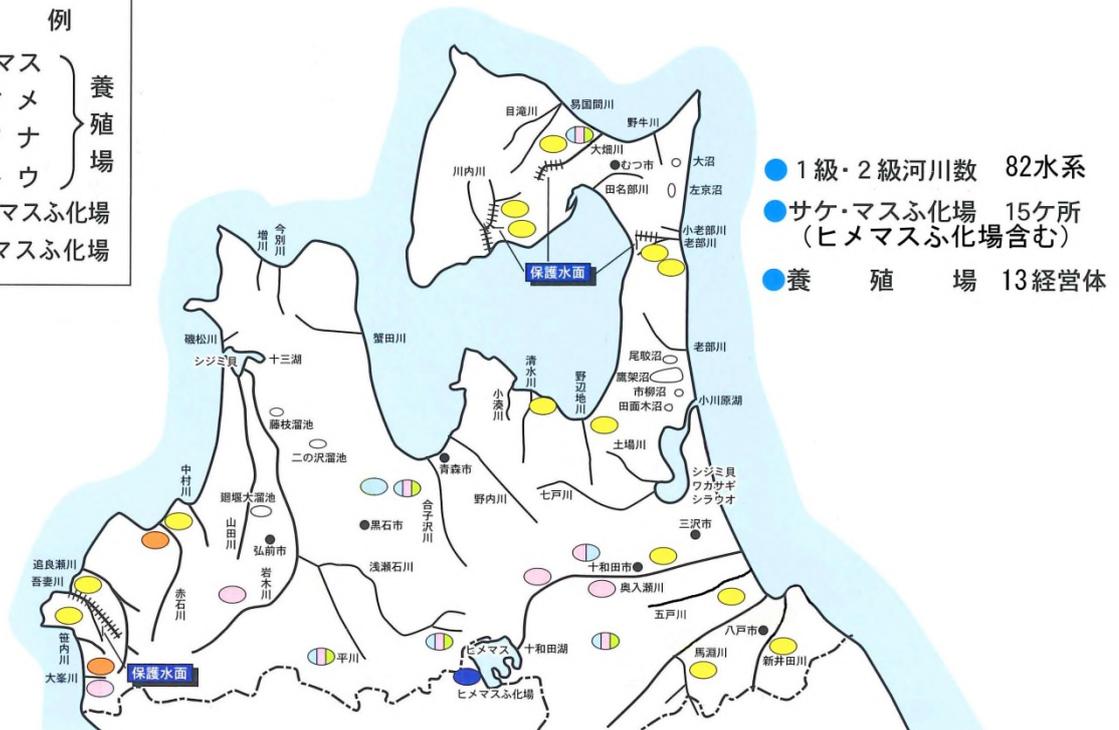
| 名 称  | 構 造                | 規 模                  | 内 容  |
|--|--------------------|----------------------|--|
| ① 庁 舎  | 鉄筋コンクリート造・<br>2階建て | 425 m <sup>2</sup>   | 事務室、会議室、ウイルス検査室、<br>生物測定室等   |
| ② 宿 直 室  | 木造・平屋              | 114 m <sup>2</sup>   | 宿直室  |
| ③ 飼 育 実 験 棟  | 鉄骨造・平屋             | 769 m <sup>2</sup>   | 生物工学実験室、生物環境実験室、<br>屋内飼育室、光周期実験室、隔離<br>実験室、採卵魚体処理室、冷凍室、<br>冷蔵室、排水処理室、機械室等                  |
| ④ ふ 化 室  | 鉄骨造・平屋             | 207 m <sup>2</sup>   | ふ化水槽、浮上水槽、餌付槽等   |
| ⑤ 倉 庫 棟  | 鉄骨造・半2階建           | 140 m <sup>2</sup>   | 飼料保管庫、車庫、工作室   |
| ⑥ 倉 庫  | 鉄骨造・平屋             | 22 m <sup>2</sup>    |  |
| ⑦ 車 庫  | 鉄骨造・平屋             | 22 m <sup>2</sup>    |  |
| ⑧ ポ ン プ 舎  | コンクリートブロッ<br>ク・平屋  | 15 m <sup>2</sup>    | 取水ポンプ 2.2kw/h<br>0.1~0.2 m <sup>3</sup> /m 2台  |
| ⑨ 倉 庫  | 鉄筋コンクリート造・<br>平屋   | 16 m <sup>2</sup>    |  |
| ⑩ 屋 外 試 験 池  | コンクリート             | 2,749 m <sup>2</sup> | 試験池 185~521 m <sup>2</sup> 7面<br>試験池 35 m <sup>2</sup> 1面<br>試験池 16.5 m <sup>2</sup> 20面   |
| ⑪ 防 疫 施 設  | コンクリート             | 1,020 m <sup>2</sup> | 試験池 200 m <sup>2</sup> 2面<br>試験池 16~21 m <sup>2</sup> 9面<br>FRP水槽 0.5~5 t <sub>h</sub> 63面 |
| ⑫ 1号、2号池   | 素掘り                |                      | 1号池<br>2号池   |
| ⑬ 取 水 ポ ン プ  |                    |                      | 15kw/h 三相式 1.5~3 m <sup>3</sup> /m 1基  |
| ⑭ 揚 水 ポ ン プ  |                    |                      | 7.5kw/h 三相式 農業用水用 1基   |
| (飼育実験棟内設備)<br>淡水温度調整装置<br>自家発電施設<br>排水除濁ろ過装置<br>特殊排水処理装置 |                    |                      | 15t/h 5系統<br>149kVA 2基<br>20 m <sup>3</sup> /h<br>3 m <sup>3</sup> /h                      |

## 構内配置図



## 県内の主なサケ・マスふ化場と内水面養殖場

- 凡 例
- ニジマス
  - ヤマメ
  - イワナ
  - イトウ
  - サケ・マスふ化場
  - ヒメマスふ化場
- } 養殖場





飼育実験棟

## 交通のご案内



地方独立行政法人

青森県産業技術センター内水面研究所

〒034-0041

青森県十和田市大字相坂字白上344-10

TEL (0176) 23-2405

FAX (0176) 22-8041